



笠間市 地域包括支援センター

KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.4
R3.9.16

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

肌寒くなってきましたね。風邪などひかないように気を付けましょう。

さて、今年度の包括ケア会議は個別事例検討会として開催しています。今回は、民生委員、高次脳機能障害支援センター、居宅介護支援事業所、社会福祉協議会、支所の皆さんにご参加いただきました。

★支援困難事例について検討しました。

今回検討したのは「生活支援が必要だが、本人に認識のないケース」です。

ご本人は税金や保険料等を長期滞納し、ライフラインが止められた中でわずかな収入を得ながら独居生活を送られています。

「脳卒中を患っているが全く動けないわけではない」、「経済的に困窮しているが全くお金がないわけではない」ということでご本人には困り感がないのですが、その実情は綱渡りそのものです。

今後、医療・介護が必要になった時にご

本人や支援者が困るであろうことは想像に難くありません。

参加者からは、「ご本人に何かあった際の連絡体制を整理しておくべき」「親族と連絡がとれるようアプローチを工夫してはどうか」等の意見が出ました。

一発逆転の制度・手段はないことから、関係機関で役割分担してチームで対応する意識を共有すること、見守りの目を絶やさず介入の機会をうかがっていくことを当面の支援方針としました。

＊＊7月の検討事例の経過報告＊＊

★「家族と連絡がとれずケアマネジメントに苦戦するケース」

大きな進展はないものの、支援者から親族へ連絡を試み続けています。



困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？

下記までご連絡よろしくお願ひいたします。

検討事例
募集中



笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871